

2024年度 メリー★ポピンズ東神奈川ルーム 事業計画書

1. 基本方針

子どもが、遊びと生活の中で感じたことを自由に表現でき、やってみたいと感じたことに自らチャレンジできる安心した環境のもと、「自分で考えて行動する力＝にんげん力」を育む保育を目指す。

そのために、スタッフは子ども一人ひとりの育ちを丁寧に理解する。そして、就学後またその先の未来から逆算し、その子にとって必要な関わり・環境は何かを追求しながら、必要な経験と育ちのできる保育を、スタッフ一丸となり実施する。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	安心・安全な保育の提供
	実践予定内容	子どもの尊い命を預かる場所であるとともに、子どもが生活の大半を過ごす場所であることを常に意識し、必要な話し合い・環境設定・研修等を実施し、より安心・安全な質の高い保育を提供する。
2	計画・ねらい	6つの力と10の姿の体得
	実践予定内容	子どもの育ちに見通しを持ち、子どもに必要な経験ができるよう保育計画を立案・保育の実施・振り返りを行う。また、スタッフの学ぶ機会を年間通して組み込み、スタッフのスキルや質の向上を図る。
3	計画・ねらい	「自ら考え、学び、動く」主体性を育む
	実践予定内容	自分の気付きや発見を大切に、自分の思いを互いに伝え合う場や、興味を自ら広げることのできる機会を全ての子どもに保障する。多様性や互いの思い・挑戦を認め合い、子どもも大人も安心してチャレンジできる環境作りを実施する。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	子育ての苦労や楽しさ、成長の喜びを共にする存在となる
	実践予定内容	保育所は子どもが生活の大半を過ごす場所であることから、スタッフは保護者の悩みに寄り添い、自分ごととして捉えることを意識する。また、園・家庭での様子を共有し合い、子育ての大変さや楽しさ、成長の喜びを共にする存在となることを、スタッフ全員が一丸となり子育てにあたる。
2	計画・ねらい	園生活を通して、子どもが何を学び、どのような育ちが広がっているかを伝える
	実践予定内容	お迎え対応時、タイムライン投稿時に、ただその日の活動を伝えるだけでなく、子ども同士の関わり・変化・成長等を丁寧に伝達・投稿し、園での活動を通して、子どもが何を学び、どのような育ちが広がっているのかを知っていただく。
3	計画・ねらい	子育てを保護者とともにやる
	実践予定内容	どろんこサポーターの募集及び行事等への参加を呼び掛け、保護者と保育所が共に取り組むことで、互いの経験・学びとなる場を提供する。

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域に開かれた園
	実践予定内容	勝手籠の設置及び、園見学・青空保育・おはなしかご・どろんこ祭り・運動会等、園を知ってもらう機会及び事前周知・情報発信を計画的に実施する。担当部署の設置。
2	計画・ねらい	地域の身近な施設との交流
	実践予定内容	商店街ツアー、シニア交流、世代間交流等を計画的に実施し、地域の身近な施設との交流を通して、地域と密に関わる保育所を目指す。

〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	「自ら考え、学び、動く」主体性のある人間
	実践予定内容	気づきや課題を捉える目を持ち、できていないことがどうしたらできるか、より良くするため何ができるかを自ら考え実践し、振り返ることができる機会の設定。及び、互いの意見や多様性を認め合いながら、保育所が目指す方向に向かう取り組みを提案できる機会の設定。
2	計画・ねらい	研修の受講及びMBOの定期実施（個人）※施設長主任含む
	実践予定内容	スタッフが学びたい分野の研修受講機会を確保するため、年度始めに受講希望分野のヒアリング及び施設長主任はシフト調整を行い、スタッフの学びの機会の確保とスキル向上を図る。また、施設長主任はスタッフ自ら日々の目標と行動計画を立てて働くことのできるよう、MBOの振り返りを定期的実施する。
3	計画・ねらい	園内研修の実施（全スタッフ）※施設長主任含む
	実践予定内容	前年度の課題及びスタッフ個人の課題・園の課題を踏まえ、必要な研修、講座、ディスカッション等、アウトプットする機会を設定する。また、施設長主任は、上記がスタッフの成長に繋がることを認識し、必要なサポートを実施する。

〈5〉 環境実施目標

1	計画・ねらい	畑からはじまる食の循環
	実践予定内容	農業計画を元に、畝づくり・種まき・水やり・草むしり・収穫・調理まで実施する。土に触れることで免疫を高め健康な身体を育てるとともに、水やりや草むしりなどしなくてはならないことを学ぶ・収穫する喜びを味わう・収穫した食材を調理加工することで、食の循環を知る機会を提供する。
2	計画・ねらい	環境課題を自分ごととして考える力を育む
	実践予定内容	毎日食べている給食の作り手である栄養士と連携し、子どもと一緒に給食残渣をコンポストに活用及び畑に再利用することで、自分たちが食べ残したものの行方や環境への関心を育む。

〈6〉 変化・成長し続ける場所であるために

1	計画・ねらい	みんなでチャレンジ（子ども・スタッフ）
	実践予定内容	子どものにんげん力を育む為には、大人のにんげん力が必要不可欠であ

		る。そのため、まずはスタッフが様々なことに挑戦することで、変化・成長を楽しめる場が保育所であることを目指す。
2	計画・ねらい	約束を守る（スタッフ）
	実践予定内容	何事にも意味・意図があることを理解する。マニュアルや締め切りなどを守り、一人ひとりが円滑に業務を行うことで、より良い保育を行うために必要なことに注力できる体制をスタッフ一丸となり整える。

2. 施設運営

〈1〉 施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
一人	7人	7人	7人	7人	7人	7人

〈2〉 開所時間

平日7時00分～20時00分（土曜はP'sスマイル保育園にて合同保育）

〈3〉 スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	7人	栄養士	1人
パート スタッフ	保育士	3人		

3. 運営方針

〈1〉 施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回 20分	園運営に関わる報告及び検討、園内研修
給食運営会議	月1回	食育、アレルギー対応、コンポスト
事故防止委員会	月1回	事故、怪我の未然防止を目的とした報告及び検討
ケース会議	月1回	個別配慮を要する子どもの支援計画
昼礼	週1回	業務連絡、クラスの子どもの情報を他クラス担任と情報共有及びディスカッション

クラス会議	月1回	クラス担任による保育の詳細な検討、振り返り
リーダー会議	随時	園運営に関する検討

〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	月例報告等
施設長勉強会	月1回	園運営、保育の質向上等
食育会議	年4回	食育計画進捗報告、献立内容、その他改善提案等
保健会議	年4回	保健計画進捗報告、感染症対策、その他改善提案等
主任会議	年6回	保育の質向上、マネジメント等
子育ての質を上げる会議	月1回	課題把握、子育ての質の向上検討等

〈3〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	保健計画、衛生に関する定期点検の実施
安全対策係	施設内外の設備管理、点検、事故防止に関する検討
防火管理者	防火管理に関する訓練及び定期点検等の実施
食品衛生責任者	給食衛生管理マニュアルに基づいた対応、スタッフへの指導
畑係	農業計画に基づいた活動の実施、畑・コンポストの管理
生き物係	保健計画、衛生に関する定期点検の実施

※その他、園運営を円滑に行うための職務分掌を実施

〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	企画、運営、振り返り等
運動会係	企画、運営、振り返り等
生活発表会係	企画、運営、振り返り等

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境や友だち、保育者と慣れ親しむ。 ・個々の発達に応じた関わりを通して愛着関係を育む。 ・身近な物事への関わりを経験する。
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の自立に向け、生活リズムの確立、排泄や着脱等に興味を持ち、自らやってみようとする。 ・戸外活動や異年齢児との関わりを通して、身近な物事への興味関心が広がる。
幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活や遊びの中で、基本的な生活習慣や運動、危険なものとの距離の取り方が身につく。 ・様々なことに興味関心を持ち、主体的に取り組む。 ・異年齢での関わりの中で、学んだことや感じたことを表現しようとする。
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな社会生活及び集団生活を通して、やるべきことに取り組む・ルールを守る・互いの意見を聞く力が育つ。 ・様々な体験を通して、豊かな感性や表現力が育つ。
保育参加	4～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	<ul style="list-style-type: none"> ・6月と11月に実施予定

〈2〉年間行事計画

- ・2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	食への意欲を育てる
	実践予定内容	戸外活動の充実・畑活動・収穫した食材の調理加工・子ども自身による盛り付け・配膳を通して、食への意欲や様々な食材等への興味関心が育まれるような活動を実施する。月1の給食運営会議でも振り返りを実施し、食への意欲を育てるために必要な物事を検討する。
2	計画・ねらい	命をいただく活動の実践
	実践予定内容	近隣園と協力し、生きている鶏を絞める経験を通して、命の大切さを知る

	機会を提供する。
--	----------

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年2回（6月・11月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い指導、歯磨き指導、性教育等
流行が予測される感染症	<p>通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 4～9月頃・・・手足口病、ヘルパンギーナ 6～10月頃・・・マイコプラズマ肺炎 7～10月頃・・・咽頭結膜炎、流行性結膜炎 11～3月頃・・・水痘、インフルエンザ、感染性胃腸炎 1～6月頃・・・伝染性紅斑 3～4月頃・・・麻疹、風疹 一年を通して・・・突発性発疹、流行性耳下腺炎</p>
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	<p>ダイアップ・・・預かりなし 抗アレルギー薬・・・2名より預かり済み／事務所に保管</p>
エピペン使用できるスタッフ	<p>本日現在10名が、研修受講し、修得済み 未受講の職員1名については3月31日までに受講予定</p>
AED使用できるスタッフ （AED設置施設のみ）	<p>設置なし （近隣のAED設置施設・・・①CIAL3階、②かなっくホール入り口）</p>
その他保健に関する取組	<p>新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導及び消毒・換気を実施する。</p>

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日

	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年2回／6・11月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	環境を通した保育の実施
	実践予定内容	子どもの興味関心や発達に応じ、自ら遊びを選択し、考え工夫できるような環境を追求する。また、子どもの姿と保育者の願いを併せ、随時環境を変えていき、子どもの遊びや活動の充実を図る。
2	計画・ねらい	子どもも大人も気持ち良く過ごすことのできる場所
	実践予定内容	保育者は、子どもと一緒に雑巾掛けや身の回りの整理整頓を行い、清潔で整った環境で過ごすことのできる気持ちよさを日々の園生活を通して伝えていく。また、必要なものに「いつでも・すぐに」手が届くことで、子どもの遊びの充実、及びスタッフの業務効率化を図る。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

該当なし

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	施設長より、保育所は子どもの尊い命をお預かりする場所であることを、年度初めの会議にて全スタッフに伝える。
2	実践予定内容	様々な状況を想定した避難訓練を実施し、子どもの安全確保及びスタッフ同士の連携、都度必要に応じた対応を行う。
3	実践予定内容	全スタッフがマニュアルを理解、順守し行動する。
4	実践予定内容	施設長、主任、リーダースタッフは、必要に応じて若手スタッフ及びパートスタッフに、マニュアルの意図を伝えながら指導を実施することで、どのスタッフが保育に入っても危機管理が行き届いた安全な状態で保育が実施されるようにする。また、必要に応じて学び直しやロールプレイングを実施し、より質の高い保育所運営を行う。
5	実践予定内容	インシデント・ヒヤリハットの傾向を担当係が分析、月1の事故防止委員会において全スタッフで検討することで、事故や怪我を未然に防ぐ。

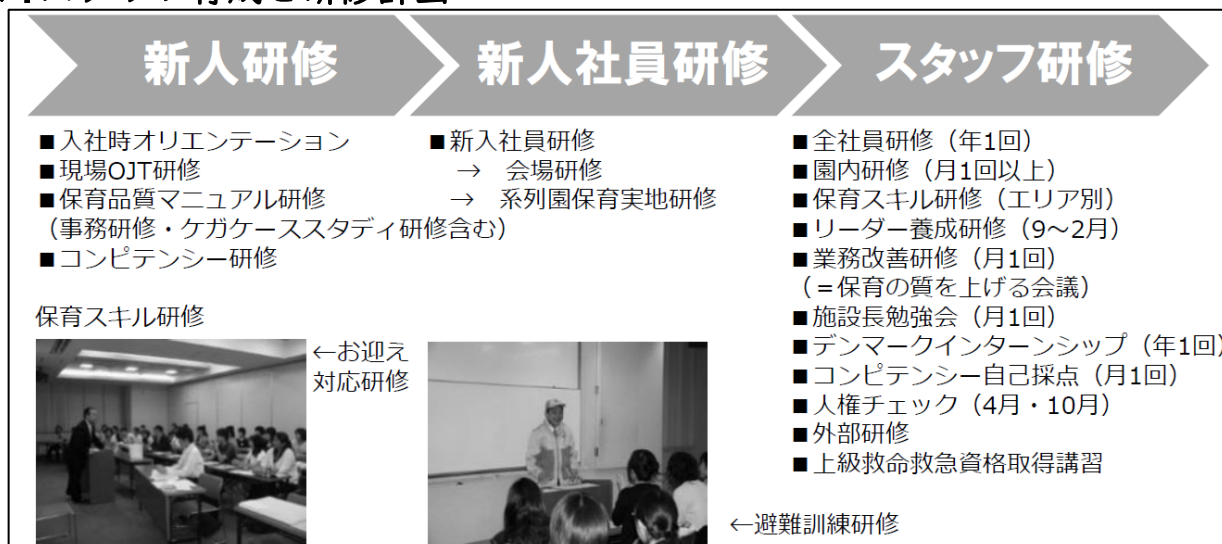
6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度方針・テーマ

次世代を担う保育・福祉の現場で活躍する人材を育成するため、実習生・研修生を積極的に受け入れを行う。受け入れ時には、保育士自身が自らの保育を振り返り、指導する力を身に着ける機会にもつなげていく。

1	実践予定内容	大学・専門学校との依頼による、保育実習の積極的な受け入れや継続した交流の実施。
2	実践予定内容	小中学校の保育所見学・職業体験などの積極的な受け入れや継続した交流の実施。

7. スタッフ育成と研修計画



〈1〉 2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②保育所の役割（事業計画より抜粋） ③人権チェック、虐待防止研修（年2）	・保育所運営及び保育実施における基本事項及び注意事項
5月	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②3つの柱と10の姿、6つの力	・保育指針と向かう方向への理解を深める
6月	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②水辺のリスクマネジメント ③6つの力～ケガをしない強い体を育てる～	・水の危険を知る ・保育実践を元にしたスタッフによる事例共有及びディスカッション
7月	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②感染症対策 ③6つの力～自分でできることを自分でする～	・感染症に対する理解を深める ・保育実践を元にしたスタッフによる事例共有及びディスカッション
8月	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②6つの力～すべての人との関わりから、判断・行動を身につける～	・保育実践を元にしたスタッフによる事例共有及びディスカッション
9月	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②危機管理 ③6つの力～活動を選択し、自分で考えて行動する～	・自園の危機管理の見直し ・保育実践を元にしたスタッフによる事例共有及びディスカッション
10月	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②虐待防止研修（年2） ③6つの力～生死を知る～	・保育所運営及び保育実施における基本事項及び注意事項 ・保育実践を元にしたスタッフによる事例共有及びディスカッション
11月	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②感染症対策（嘔吐処理） ③6つの力～感じたこと・考えたことを表現する～	・嘔吐処理ロールプレイング ・保育実践を元にしたスタッフによる事例共有及びディスカッション
12月	18:00～20:00	①コンピテンシー自己採点 ②スタッフ提案による園内	・スタッフによる園内研修の実施による、保育の質及びスタッフのスキ

		研修	ル向上
1月	18:00~20:00	①コンピテンシー自己採点 ②2025年度事業計画動画視聴	・保育所が担う役割及び事業計画の理解
2月	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 年間計画策定会議1	・今年度の振り返りを元に、次年度の園目標決定
3月	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 年間計画策定会議2	・次年度に向けた計画作成

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月1日～30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デンマークインターソップ	希望するスタッフが応募											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

地域の方にとって親しみのある、身近な施設となる。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：反町公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	老人福祉施設訪問
異年齢交流	幼・保・小連携による近隣の保育所・幼稚園及び小学校との交流及び情報交換、専門学生との交流、地域ボランティア活動の受け入れ
地域拠点活動	ちきんえっぐ、園庭開放、青空保育、地域イベントや子育て支援拠点(かなーちえ・プレイパーク)でのイベント参加
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

9. 小学校との連携の計画

〈1〉今年度方針・テーマ

- ・自園の子どもが入学する小学校を中心に、幼児担任との連携を密に行う。
- ・小学校との連携や研修を通して、小学校の現状を知り、必要な保育を実施する。

〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を4月1日（月）より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
5月頃	幸ヶ谷小学校	7名予定	運動会見学	見学
10月頃	幸ヶ谷小学校	7名予定	学校見学	子ども間交流
11月頃	幸ヶ谷小学校	7名予定	授業参観及び小学校教諭との情報交換	職員間交流
2月頃	幸ヶ谷小学校	7名予定	授業参観(学校見学)	子ども間交流

10. 要支援児計画

〈1〉個別支援計画の作成・見直し

家庭、専門機関と連携し、計画を立て、全スタッフ共通理解のもと支援にあたる。

〈2〉毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：11名予定)

園会議、昼礼、クラス会議を通して、要支援児の様子を共有し理解を深める。

〈3〉進級引継、および、小学校への引継

児童要録を基に、小学校への引き継ぎを実施する。

11. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(金) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(金) 14:00～16:30
自然食堂…親子ランチ交流	毎月第2(火) 10:00～12:00予定 ※ちきんえっぐだより参照
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎週第1(金) 10:00～12:00予定 ※ちきんえっぐだより参照
勝手籠設置	(月)～(金) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名：反町降園にて開催

12. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

どろんこ会グループでは、横浜市内の認可保育所においては開園3年目、以降5年に一度、第三者評価を受審することとなっている。2021年11月18日、19日受審済み

〈2〉園による自己評価の実施

2024年某日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：13時30分

自己評価終了予定時刻：14時30分

自己評価実施予定者：施設長、主任、リーダー保育士1名

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

1 3.3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを真ん中にした保育ができるよう、スタッフ同士が話し合い、助け合い、育ち合う。（保育者同士、子ども同士が互いにそれぞれの個性を認め合い、助け、支え合いながら育ちあえる関係性を目指す。） ・日課の定着。（日課の意味や大切さを再確認し、共通認識をもって、保育計画を立案、実行する。） ・清潔感があり、親しみのある保育所、施設。（整理整頓、掃除を日常的に取り組み、見た目からの清潔感も大切に、来園する人だけでなく、地域の方々、近隣の保育園とも気持ちの良い関係作りに努める）
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・昼礼にて、子どもの姿をもとに話し合うことで、子どもの立場に立って考え、必要な援助の検討を行うと共に、エピソード記録を通して一つの場面を様々なスタッフの視点から捉えることで、スタッフ同士認め合い、学び合う機会となった。今後は、子どもの発達に対する知識と見通し、及び目指す方向・育みたい力への理解を深め、そこから逆算した保育実践力をつけていく必要がある。また、スタッフは保護者への伝達を丁寧に行い、園での子どもの様子や成長過程を共有し、共に子育てを行う。 ・日課の流れや動線をスタッフ間で話し合うことで、どのスタッフが入っても毎朝の日課が実施され子どもにも定着している。そのため、子どもの一日の生活リズムがおおよそ整っている。異年齢で日課を実施することによる子ども同士の学び、やってみたい意欲の芽生え、自分にできることは自分で行う、年長児のリーダーシップ、当番活動など、日課を通して子どもの成長を感じることができた。今後も日課を通した子どもたちの学びや意味合いをスタッフ間で確認しながら、日課を継続していく。 ・園舎内の整理整頓及び清掃表の改善を行い、常に整理整頓された状態を保つことができている。また、衛生面においても子ども及びスタッフが健康に過ごすことができる環境が整っている。今後は、綺麗な施設の維持とともに、棚の中の整理整頓を行い、子どももスタッフも必要な道具にすぐに手が届くことで、子どもの遊びの充実・スタッフの業務効率化を目指す。

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿 重点施策 ※中期事業 計画及び20 24年度施設 運営ミッシ ョン	「子どもも大人も主体性をもって行動できる保育所の基盤をつくる」 <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な質の高い保育の提供。 ・子ども・スタッフともに、6つの力と10の姿の体得。 ・鶏を絞めて食す、命をいただく活動の実践。（3歳児以上対象／選択制） ・保護者及び地域にとって、信頼と親しみのある施設となるための発信活動の実施。 ・スタッフによる提案・実行を歓迎し、園全体で一丸となり取り組み、保育をアップデートしていく。
2025年度	目指す姿	「子どもも大人も自分の行動に意味を持ち、考え続けられる人間の育

		成」
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが様々なことに興味関心を持ち、経験する中で、やることへの意味を見出しながら活動に取り組もうとする力を育む。 ・保育所に求められること・そのためにすべきことを常に情報収集・理解し、自分にできることを考え生み出そうとするスタッフの育成。また、研修への参加及び実施。 ・保護者及び地域との繋がりの中で、保護者と保育所、地域が結びつき、共に子育て支援活動を実施。
2026年度	目指す姿	「保育所・保護者・地域との繋がりの中で、子育てのロールモデルとなる」
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な社会の変化のある中で、生活力・選択力・思考力を身に付け、生きる力を育む。 ・保護者及び地域との繋がりの中で、子育てのロールモデルとなることができる施設運営及び常に定員が埋まっている施設。

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ東神奈川ルーム 施設長 沖 理菜